

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2022年7月7日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

国民の命と健康を守るために 医療・介護・福祉の充実を 広がる市長村議会へ「国への意見書」陳情・要請、採択

道医労連等を中心に、新しいのち署名「安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、国民の命と健康を守るための国会請願署名」の項目の内容(右記)で、道内市町村議会に、国への意見書採択の陳情や請願、市町村に国への働きかけを要請しています。

6月議会も、旭川市・小樽市・浦河町・興部町・斜里町などで意見書が採択されました(累計で趣旨採択も含め17市議会:判明分)。

- 1 安全・安心の医療・介護・福祉提供体制を確保すること。
- 2 保健所の増設など公衆衛生行政の体制を拡充し、保健師等を大幅に増員すること。
- 3 社会保障・社会福祉にかかわる国庫負担を増額し、75歳以上の窓口負担2倍化を中止するなど国民負担を軽減すること。

釧路社保協等が、釧路市議会に陳情・趣旨説明 医療従事者の実情など訴える



釧路社保協・道東勤医協・道東勤医労は、「安全安心の医療介護福祉を実現し国民のいのちと健康を守るための陳情書」4件を釧路市議会に提出。6月21日の民生福祉常任委員会で、道東勤医協本部の高橋香織課長が陳情の趣旨説明として、コロナ感染に対応する医療従事者の実情などを訴えました。

北海道勤医労が、小樽市議会に陳情。意見書採択される

北海道勤医労の濱谷和子副委員長・佐賀正悟書記長は、5月9日小樽市議会を訪問し、標記の意見書案を陳情(提出)しました。

6月27日の市議会で下記の内容で意見書が採択されました。

安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、国民の命と健康を守るための意見書 小樽市議会(2022年6月27日)

新型コロナウイルスによる感染拡大は、経済活動や国民生活に深刻な影響を及ぼし、医療をはじめとした社会保障・社会福祉体制の脆弱さを鮮明にして、国民のいのちと健康が脅かされる事態が広がりました。このコロナ禍で明らかになったことは、感染症対策を中心的に担う公立・公的病院の役割の重要性及び感染症病床や集中治療室の大幅な不足、医師・看護師・介護職員の人員不足、保健所・保健師の不足などです。これらの諸問題の背景として、1990年代後半から続いてきた医療・介護・福祉などの社会保障費ならびに公衆衛生施策の削減・抑制策があります。コロナ禍における教訓は、医療・介護・福祉をはじめとした社会保障拡充の重要性です。国民の命と健康、暮らしを守り、新たなウイルス感染症や大規模災害などの事態に備えることが喫緊の課題となっています。

よって、政府においては、国民が安心して暮らせる社会実現のために下記の事項について取り組むように要請します

- 1 安全・安心の医療・介護・福祉提供体制を確保すること。
(1) 医師、看護師、医療技術職員、介護職員等を大幅に増員し、夜勤改善等、勤務環境と処遇を改善すること。
(2) 公立、公的病院の再編統合や病床削減方針を見直すこと。
- 2 保健所の増設など公衆衛生行政の体制を拡充し、保健師等を大幅に増員すること。



参議院選挙の争点 医療・介護・福祉職員の大幅増員・処遇改善、地域医療・公衆衛生の充実